

国家公務員採用試験一般職（高卒者試験）受験予定者の皆様へ

近畿中国森林管理局

で働いてみませんか！

先輩職員からのメッセージ

K さん(平成28年採用 一般職(高卒程度)農業土木)



【現在取り組んでいる仕事】

現在は森林管理署の治山グループ係員として山地災害の復旧に尽力しています。私が担当する地区は、大規模な災害に見舞われたこともあり、規模感・箇所数共に林野庁随一と言われていています。具体的な仕事は、現場監督がメインであり、工程管理や品質管理、予算管理、突発事項への対応等を行っています。その他には設計書の作成や災害対応など、多岐にわたります。

大規模な現場だけに施工方法を間違えると取り返しがつかなくなるので慎重に監督を行っています。徐々に現場を見る目が養われ自分の技術力が向上しているのが最近分かってきました。大規模な現場を任せていただいていると思い、誇りを持って仕事に取り組んでいます。

【職場の雰囲気】

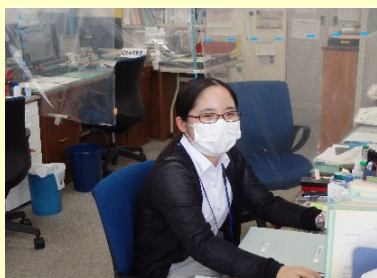
現在は治山事業所勤務であり上司と同僚の3人で仕事をしていますが、雰囲気は良く仕事だけでなくプライベートな話しやすい環境です。最近では新規採用者(若手)が増えており、年齢の近い職員が同じ職場にいることがほとんどで、どこにいても居心地のよい職場になっております。先輩も優しい方ばかりで、採用されて6年になる私にもまだまだ若手扱いしていただき甘えさせていただいています(笑)

【林野庁の魅力】

やはり仕事と自然との距離がこんなにも近いのは林野庁にしか無い魅力です。現場に行くとすれば、ほとんどが山の中であり仕事しながら森林浴もできる、こんなにいい職場がほかにあるでしょうか？(いや、ない！)私もそうでしたが自然が大好きな方にはうってつけの魅力溢れる官庁だと思います。(自然が好きなだけで林野庁に入ったことを白状しますが、後悔は全くしていません(笑))

どの官庁に行くか迷われている方で自然が好きな方は、近畿中国森林管理局で是非一緒に働いてみませんか！お待ちしております！

M さん(令和3年採用 一般職(高卒程度)林業)



【現在取り組んでいる仕事】

森林管理事務所の総務グループの係員として、文書の受付や決裁済になった文書の処理、上司の補助的な業務等を行っています。

また、OJT(※)を兼ねて様々な業務の現場に行かせてもらうこともあり、自分が担当している業務以外のことを学ぶ機会が多くあります。

※OJT→職場内で実際の仕事を通じて、上司や先輩の指導のもとに、知識や技能・技術を習得する制度。職場内訓練ともいいます。

【職場の雰囲気】

入庁前はどんな雰囲気の職場なのか全く分からず、自分はちゃんとやっていけるのか等かなりの不安がありました。そんな不安もすぐなくなりました。

話しかけやすい人が多く、分からないところを聞くと丁寧に説明していただけます。

【林野庁の魅力】

採用区分に関係なく、総務や治山などの様々な仕事に関わることができる場所だと思います。

また、森林という自然と関わることができる仕事ということも魅力の一つだと思います。



S さん(平成30年採用 一般職(高卒程度)事務)



【現在取り組んでいる仕事】

局の経理課で、局署全体の職員の出張に関する旅費の精算業務や、局で集約して行っている局署の契約に対する支払業務を担当しており、主に各署等から提出される支払書類の確認を行っています。

支払を行うに当たり書類の不備がないか、適正な手続きが取られているかのチェックをします。誤って支払いを行った場合、債権者等の方に迷惑をかけるとともに事後処理に多大な労力を要することから、より慎重に業務を行っています。

【職場の雰囲気】

経理課は黙々と数字に向き合っているイメージですが、実際はそんなことはなく、署等からの相談や事業者からの問合せなども多く、休憩時には雑談をしたりと楽しく仕事をしています。当初、経理の知識も何もなかった私ですが、上司を始め、周りの方々が基礎から丁寧に教えてくれたおかげで仕事ができるようになりました。集中するときはしっかりと集中し、疲れた時は適度に息抜きをする。メリハリのある働き方をしている方が多いと思います。

【林野庁の魅力】

採用区分に関わらず、業務の選択の幅が用意されていることだと思います。学校で林業を学んでいなくても、入庁後の研修を通して一から学ぶことが出来ます。本人の希望次第で様々な業務に挑戦することが出来るのが林野庁の魅力だと思います。

よくある質問にお答えします

Q1) 試験区分によって担当業務が限定されますか。

A) 試験区分により担当業務が限定されることはありません。林業、農業土木、事務の区別なく、局又は署等で仕事をしてもらっています。

Q2) 採用時の配属先はどう決定されるのですか。

A) 採用時の配属先は、事務区分の方は試験地域内（事務近畿なら近畿地方、事務中国なら中国地方）、その他の試験区分の方は、面接カードに記載された希望を参考にしながら配属先を決定します。

Q3) 採用後は、全国異動となるのですか。

A) 人事異動については、基本的に配属局管内の異動となります。配属先は、本人の希望や適性を見ながら決定しますが、林野庁本庁や他局への異動も可能です。

Q4) 林業の知識がありませんが業務に支障はないですか。

A) 林野庁には充実した研修のシステムがあり、必要な知識を習得しながら業務を行っているので、心配はありません。また、実際に林業の知識が無い方もたくさん採用しており、皆さん活躍しています。

Q5) 体力に自信が無いのですが業務に問題はありますか。

A) 森林のパトロールや収穫調査、境界の見回りなどの業務を行っていただくこととなりますので、普通の山を歩く体力は必要です。なお、山を歩く体力は、ある程度慣れればついてきますので心配ありません。

Q6) 林野庁には女性職員はどのくらいいますか。

A) 全職員の割合でいうと1割くらいですが、最近の採用状況は、女性職員が3割くらいと増えています。今後、男性職員が多い高年齢層が退職するため、大幅に増加する見込みです。

Q7) 林野庁の仕事と環境省の仕事はどのように異なるのですか。

A) 林野庁は、国土の面積の2割を占める広大な国有林の管理・経営の仕事を主に行っています。山（国有林）に木を植え、育てて、伐採し、木材を販売する林業の仕事に従事できる一方、貴重な森林生態系や生物群集からなる国有林を保護し、モニタリングする仕事や、民家や施設を土砂崩れから守る治山事業など森林に関する様々な仕事を現場で自らの手で実現できます。また、民有林の整備、木材の有効利用等の国有林以外の森林・林業に関する幅広い行政に従事することができます。

一方、環境省のうち、特にレンジャーの仕事は、国立公園の管理、野生生物の保護などが中心であり、森林のみを対象としておらず、林業・木材産業などの産業政策とは目的を異にしています。

【お問い合わせ先】

近畿中国森林管理局 総務課
TEL：06-6881-3421